

たかちほ

議会だより

2017

5.12

NO.94

今度の議会だよりのおすすめは!!

希望をつなぐ予算決まる (2)

ふれあいバス大幅値下げ (8)

薬学生に修学資金 (11)

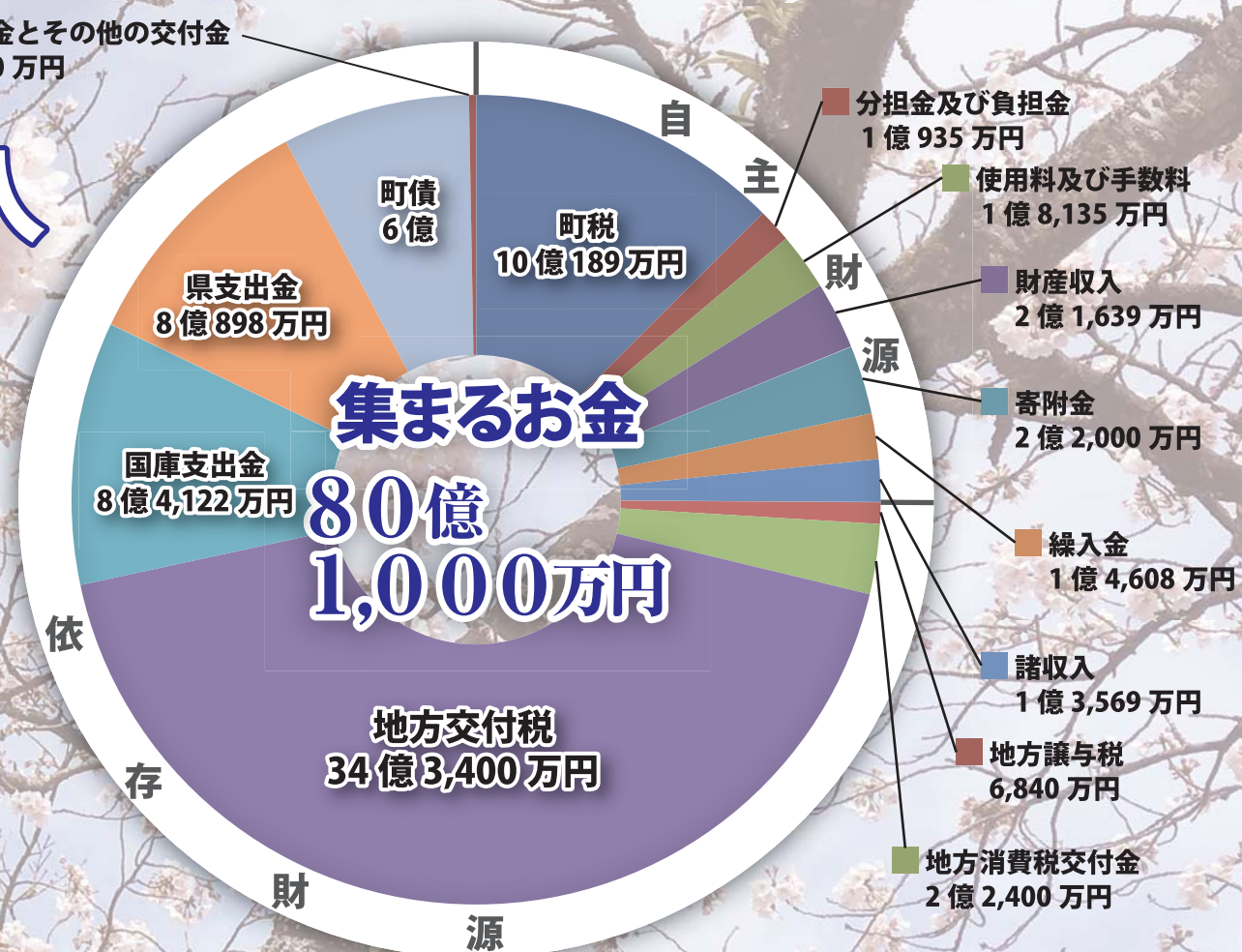
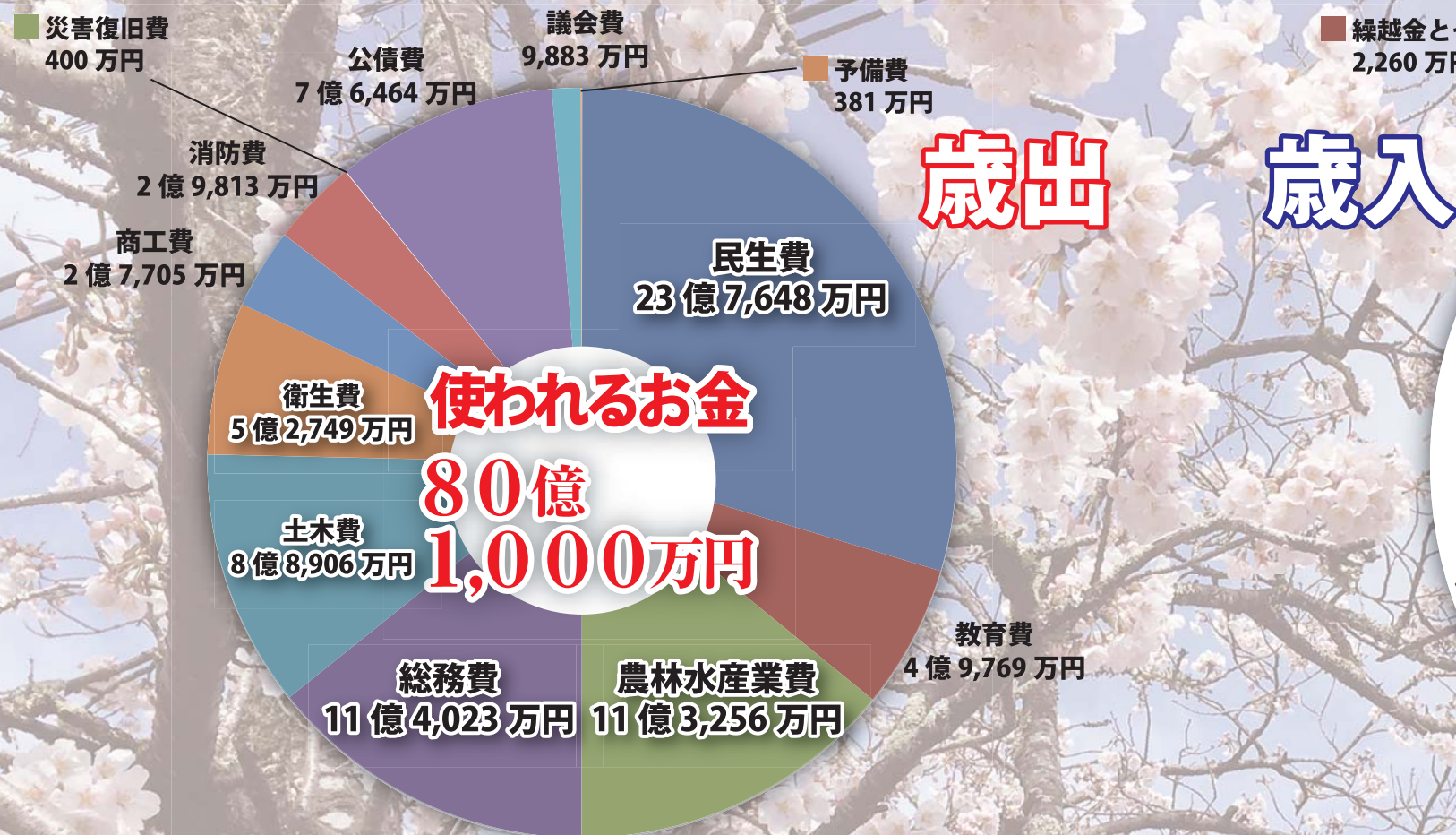
一般質問に8名登壇 (12)

田原保育園 卒園式

平成 29 年度予算を承認

若者の未来へ希望をつなぐ予算

一般会計
80億1,000万円
【前年度比 0.8% 増】



平成 29 年度 会計別予算総括表

(単位：千円・%)

会 計 名		予算額	対前年度	増減率 (%)
一 般 会 計		8,010,000	60,000	0.8
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	2,128,512	△ 60,422	△2.8
	簡易水道事業特別会計	63,306	845	1.4
	下水道事業特別会計	183,652	△ 5,889	△3.1
	西臼杵地域介護認定審査会特別会計	9,696	1,144	13.4
	介護保険特別会計 (事業勘定)	1,284,887	9,029	0.7
	〃 (サービス勘定)	9,937	△ 5,095	△ 33.9
	後期高齢者医療特別会計	194,202	24,185	14.2
企業会計	水道事業会計	152,541	△ 1,919	△ 1.2
	国民健康保険病院事業会計	2,307,432	50,058	2.2
総 予 算 額		14,344,165	71,936	0.5

ふるさと納税 好調
1 億円増額で取り組む



都市再生整備計画のワークショップ



高千穂牛レストラン「和」

第一回定例会は、2月28日から3月17日まで、18日間の会期で開かれました。

条例議案11件、補正予算7件、新年度予算9件、人事案件2件の合計29件と承認1件を慎重審議し、全議案原案通りに可決しました。

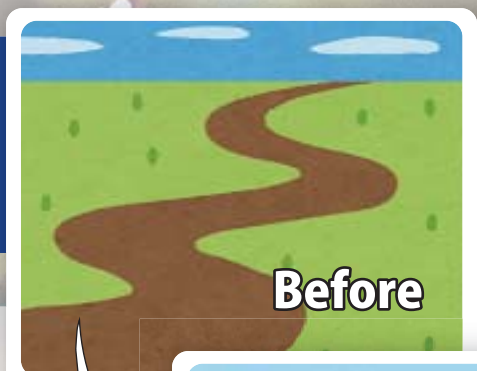
29年度一般会計予算歳入では、ふるさと納税による寄附金を2億2,000万円とし、昨年より1億円の増を見込んでいます。

地方交付税や県支出金などの減額もあり、歳入合計は前年比600万円増の80億1,000万円です。

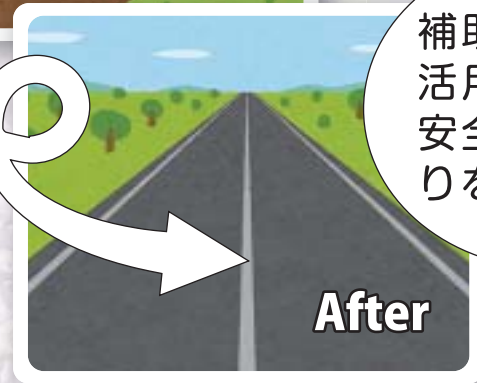
歳出の主なものは、三田井・岩戸地区の道路や駐車場など都市再生整備計画に1億5,000万円、旧岩戸中解押方南平団地の建て替え工事の実施設計に2億6,000万円などです。

重点事業をピックアップ

この町に生まれて良かった
住んで良かった
そう思える町へ...



Before



After

補助金を有効活用して安心安全な道づくりをするよ!!



山附線
4,900万円

押方地区(幅員拡幅)



下奥鶴線
5,300万円

河内地区(幅員拡幅)



秋元神社線
2,100万円

向山地区(舗装補修)



鵜波原線
600万円

上野地区(幅員拡幅)



尾谷線
300万円

三田井地区(局部改良)



上岩戸小法面
1,000万円

(指定避難所)

上岩戸地区(急傾斜地崩壊対策)



子どもの貧困実態把握
270万円



南平団地建替基本設計
2,600万円



全共出品対策事業負担金他
420万円



都市再成整備計画事業
1億5,000万円



岩戸中解体
4,893万円



消防自動車更新事業(4台分)
2,400万円



天岩戸保育園舎建替設計
1,850万円



防災マップ作成委託
375万円

※写真は各地区の主な路線及び箇所

議会からの要望とまちの声

議 消防団と広域消防署の連携強化を図れ。



消防団団長
佐藤高明さん

声

訓練を重ね、意志の疎通と融和を図ってまいります。

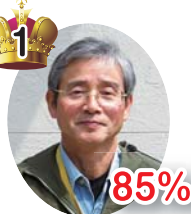


議 特定検診の受診率をアップさせ、予防医療と健康増進に努力せよ。

声

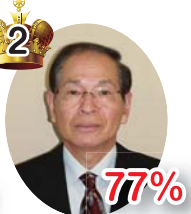
館民のみなさんが助け合い、各種検診を受診しています。 **町内受診率トップ3!!**

1



秋元公民館長
飯干淳志さん

2



上永の内公民館長
富高康雄さん

3



芝原東公民館長
黒木康弘さん

議 町道の維持管理などについては町民の要望に対応し、安心安全な道路整備に努めること。



芝原東
興裕勝行さん

声

5 kmの町道を管理していますが、高齢化により作業も厳しくなりました。



議 高千穂夜神楽伝承の育成補助金は夜神楽と日神楽での補助額の見直しを図れ。

声

奉仕者の数が足りず川登地区や浅ヶ部地区より応援をいただいています。



下川登
鈴木亮史さん



議 子育て世代包括支援センターの充実を図り、利用者の要望に対応すること。



長友恵理さん
悠馬くん

声

遊具などで遊べる場所が欲しいです。



議 U・I・ターン推進事業は移住希望者の受け入れ支援や地域支援などの情報説明を積極的に推進せよ。



奥 佳郎さん
(佐賀市出身)
初子さん
(日之影町出身)

移住定住支援事業で高千穂に移住、3月で2年目です。行政には夜の光の演出による景観づくりをして欲しいです。



で～する!! 与げなる?

総括質疑

みんなでまちづくり



質疑 まちづくり景観策定業務委託及び都市計画再生整備計画事業が大幅に減額されているがその理由は。
答弁 まちづくり事業は県の補助が付いたため減額になり、都市再生整備計画については国からの交付額が県内どこも半分に減った。
本町は今年度スタートしたばかりで計画数値がしっかり表記できれば予算も付けていただけたと考えている。

まちづくり事業の
大幅減額は

質疑 空き家対策で計画策定業務委託の60万円、及び高千穂鉄道点検業務委託料の380万円は満額実施の予定か。
答弁 空き家対策業務については、まちづくり景観計画とも関連するので、28年度繰り越し事業と29年度事業とともに進めながら同じ時期に成立させたい。
鉄道の点検については実施済みであり、点検結果を踏まえて、来年度以降の利用法についても検討していく。



けっこうしっかりしてます

満額実施の
予定か

連携してまちづくり

連携協定調印式



質疑 世界農業遺産の認定を受け、さらにユネスコエコパークの認定を受ける可能性が高まってきた。
3月5日には高千穂高校・宮崎大学・活性化協議会の3者で協定を締結し、世界農業遺産を生かしたまちづくりに挑戦するとの町長施政方針であったが、どのような計画か。
答弁 この3者により、世界農業遺産を生かしたまちづくりについての調査研究やフォトコンテスト、さまざまな実験を今回出していたくものと期待している。

世界農業遺産を
どう活かすのか

町営プール跡地を駐車場に

西町駐車場



駐車スペース22台

町営プール跡地を町営駐車場として整備した。駐車総台数が22台で、すでに20台が契約終了しており、残りスペースは2台分となっている。(4月現在) 利用料は、月極2000円、短期間日額500円とする。

全員賛成で可決

西町駐車場

下水道

普及率に努力

本年度予算額が1億8365万円、前年比3・1%の減額です。

委員会の意見

将来的に設備未収金の整理調査を行い、徴収問題の解決を図り、町民や受益者負担にならない運営をすることを要望した。

全員賛成で可決



簡易水道

統合すすむ

本年度予算総額が6330万円、前年比1・4%の伸びです。本年より田原地区簡水・上野地区簡水・向山・北地区簡水が統合され、残りが22組合となります。

上水道

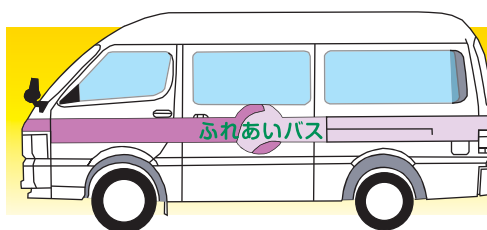
給水人口減

収益的収入1億5254万円、支出1億5049万円、資本的収入2000万円、支出4793万円です。

委員会の意見

排水管老朽・普及率・漏水問題・給水人口減少など多くの課題がある。将来的に設備費増が見込まれ、水道管配置見取り図を作成して定期的な予算計上することを要望した。

全員賛成で可決



ふれあいバス 料金値下げ 4路線新設

ふれあいバスは、運行距離に応じて、100円～700円で料金設定していたが、近年利用客が減少の傾向にあり、利用促進を図るためにこれを100円～300円とし、乗り継ぎ路線でも上限300円に設定した。新たに三原尾野線・椎屋谷線・岩戸五ヶ村線・永の内線の路線開設を行った。

委員会の意見

利便性向上や利用客増が期待できる。今後もさらに利用客増に努力する事を要望しました。

全員賛成で可決

ふれあいバス改正表

平成 29 年 4 月 1 日

路線名	路線変更	時刻変更	料金変更
河内線	—	—	あり
岩戸線	—	あり	あり
日向線	あり	あり	あり
土呂久線	—	あり	あり
日出線	—	—	あり
田原線	—	—	あり
五ヶ所線	—	—	あり
広木野線	—	—	あり
押方線	あり	あり	あり
南平団地線	—	あり	あり

路線名	路線変更	時刻変更	料金変更
芝原線	あり	あり	あり
山附線	あり	あり	あり
<u>三原尾野線</u>	<u>新規</u>	<u>新規</u>	<u>新規</u>
<u>椎屋谷線</u>	<u>新規</u>	<u>新規</u>	<u>新規</u>
向山(水の口)線	あり	あり	あり
向山(狩底)線	あり	あり	あり
平和町線	あり	あり	あり
浅ヶ部線	—	あり	あり
<u>岩戸五ヶ村線</u>	<u>新規</u>	<u>新規</u>	<u>新規</u>
<u>永の内線</u>	<u>新規</u>	<u>新規</u>	<u>新規</u>

※詳しくはふれあいバス時刻表をご覧ください

条例
改正

薬学生に修学資金

がんばっています！



町立病院 薬剤師

町立病院は、現在、薬剤師2名体制で業務を行っており、毎年薬剤師の募集を行っていますが、応募がない状況が続いています。薬剤師確保のための施策として、薬剤師修学資金貸与条例を制定しました。

修学資金の対象者は、町外出身者も対象とし、延岡市の九州保健福祉大学の町外・県外の学生なども対象となります。修学資金は、月額10万円と大学入学金の2分の1（上限100万円）とし、借り受けた期間分、病院に勤務すると全額免除となります。

委員会の意見

全員賛成で可決

町立病院は、西臼杵の中核病院としての役割を果たすため、関係機関と連携を図り、医師確保は継続して取り組むことや、患者が安心して受診できる病院の環境づくり・訪問看護の普及・啓発を要望した。

委員会の意見

外来患者数1日平均400人、年間9万7600人、入院患者数1日平均95人、年間3万4675人、収益は21億5737万円です。医療体制は、外科・内科・整形外科・耳鼻咽喉科・小児科が常勤医師11人に対応し、眼科・泌尿器科・皮膚科循環器科・透視管理は非常勤対応です。

町立病院

医師確保を継続的に!!



子育て支援センター

国民健康保険特別会計予算は21億2851万円、国保加入世帯2153世帯、被保険者数3721人を算定基準としています。保険税収は3億468万円、不足については、基金8000万円を繰り入れ、調整を図っています。本町1人当たりの医療費は、37万550円で県内26市町村では、平成27年度は上から16番目になります。

委員会の意見

平成30年度には、国保広域化が予定されている。運営については、最大限努力されているが、一般会計からの繰り入れも検討し、効率的な運営と医療費の抑制を図る取り組みを積極的に行うことを要望した。

全員賛成で可決

町内の福祉事業者と意見交換

委員会の調査

町内の社会福祉法人・デイサービス事業者・グループホーム・障がい者支援事業所の

【保健福祉総合センター 事務長】
答現在、介護計画は、在宅を推進しているもので、その拠点となるもの、手助けが出来る施設が望ましいと考えます。介護給付費を伴う大規模な施設は考えていません。

【答福祉保険課長】
旧岩戸中学校跡地は、地域の意見を聞き、施設でのサービスは、現在民間と競合しないもので、利用者と住民が共有できるものと考えています。

行政から旧岩戸中学校跡地を活用した、天岩戸保育園の建て替えと福祉施設の案が示されました。委員会として重要な事業であり、行財政の視点から、有効な跡地活用を行政に提言するため、調査を行いました。

担当課からの調査内容

関係者に出席していただき、事業所ごとの現状と課題についての意見交換会を開催しました。

福祉の現状と課題

全体的にどの施設も介護職員の確保が難しい状況で、今後さらに難しくなると予想されています。障がい者関係の施設では、ショートステイの必要性を強く思っています。ショートステイを行っている施設では常に満室状態で緊急の受け入れが出来ないため、増設を考えています。

委員会の意見

今回の調査で、町内の福祉事業所の課題は介護士確保であり、行

政として対策を講じ、介護士を養成することが急務です。高齢者や障がい者を抱える家族は、ショートステイの要望が多く、対応できない状況です。財政状況と介護保険料の増加・介護士不足などを考慮すると行政で施設を整備するより、現在、ショートステイを行っている福祉施設と連携を取り、対応することが町にとっても利用者にとっても効果的だと考えます。将来必要とされる生活支援ハウス・交流施設は、本場に必要なのか、どこが運営するのか充分検証し、利用者にとって利便性の高い場所の選定を行い、利用度の少ない公共施設、例えば出張所、空き家などの活用を強く要望しました。

活発な議論があったばい



福祉事業者との意見交換

国保

1人の医療費が
37万550円



戸高次議員

高千穂高校の支援策を

町長 進学者増に取り組む

問 宮崎県による県立高校の1学年の適正規模は、4学級から8学級が基本で、1学年4学級に満たない状況が続けば統廃合の対象となる。

現在、高千穂高校の全校生徒は371人で、郡外の生徒数が77人、1学年4学級を確保して維持している状況です。

町長 ① 町外からの生徒数確保のために、法務局を寮として活用出来ないか。

適正な 小中学校編成を

教育長 少子化対応の 学校づくり

町長 ① 小中学校と連携・交流を促進し、高千穂高校への進学者を増やす取り組みや寮の増設も検討する。

問 ② 町内出身の高校入学者に助成金及び給付型奨学金などの支援はできないか。

町長 ② 今後の状況を見ながら検討する。

問 今後、少子化が進行すれば、生徒数の減少により複式学級の増加や、部活動の選択肢が少なくなる。

お互いに学び合いながらの表現力やコミュニケーション能力を伸ばす教育環境も損なわれる。

将来の小中学校の学校編成について教育行政で方向性を議論し、適正な学校編成計画及び実施計画の素案を作成すべきではないか。

教育長 学校規模の適正化が課題であり、今後、保護者や住民の皆様の意見を伺い少子化に対応した学校づくりに向け取り組む。

夢に向かって
がんばってね！！



高千穂高校新入生



飯干清喜議員

楽しい敬老会に

町長 それぞれに開催して頂く

町有地・財産の 活用は

町長 収益を出す 方法を検討

問 現在、各公民館単位で行われている敬老会を、年度事に町全体や校区割りで周期的に行うことはできないか。

理由として、
① 大きな公民館と小さい公民館の催しの差が大きい。
② 大きな公民館でも例年同様で、弁当配布とともに帰られる人も見られる。

③ 多くの敬老者が、他の地区の同年代の人達に会いたがっている。

問 本町には、活用されていない町有地や町有林があることを再確認し、売却も含めて活用すべきではないか。

町長 本町は平地が少ないことから、駐車場用地や災害時の避難場所としても必要。町有林も収益を出す方法を検討していく。

町長 本町は平地が少ないことから、駐車場用地や災害時の避難場所としても必要。町有林も収益を出す方法を検討していく。

町長 憲法は「義務教育を無償とする」教育基本法は「授業料を徴収しない」と定めているが、加速する少子化と6人に1人といわれる子どもの貧困対策は急務だ。

保護者の負担軽減をはかり子育て環境の整備と、地域社会で子どもたちの成長をささえる方法として、給食費・医療費を高校生まで助成できないか。

町長 給食費については、現在の地元食料を提供する負担金にて対応したい。

医療費は中学生まで無料化しており、医療費の状況や県内の動向を注視しながら現状維持でいきたい。



工藤博志議員

農業支援策について

町長 協定での整備が有効

町長 国・県では、規模拡大や低コスト化が求められており、特にトラクター導入など難しくなっている。

中山間集落協定での、将来を見据えた取り組みで整備して頂くことが、最も有効な手段と考える。

議場の改善について

町長 前向きに検討する

問 本庁舎は築35年経過しており、現在、耐震強化対策事業が行われている。

議場も次期改選で定数13人となり、現状のままでは空席が目立つ。傍聴席は階段式で、音声も聞き取りにくく、「開かれた議会」・「住民サービス」の観点からも改善に取り組めないか。

町長 空席が目立つことは承知しているが、庁舎改築の問題もあり当分は現状のままにしておきたい。傍聴席については障がい者への配慮や発言が聞き取りにくいことなどから、改善について前向きに検討する。



富高友子議員

子育て支援について

町長 注視しながら現状維持



高千穂小学校

奨学金支援について

教育長 支援策を検討

問 学費の高騰と収入の減少により奨学金に頼らなければ進学できない学生が多くなり、社会人一年目から多額の借金を背負っている。

奨学金返済に苦しむ人達に支援はできないか。

教育長 人口減少対策の面からも奨学金の支援策を検討したい。

DV問題について

教育長 指導・連携をはかる

問 DVの相談件数が過去最多となっており、中学生・大学生の若者間での「デートDV」もある。専門家を招きデートDV防止の講座はできないか。

教育長 専門家の協力も得ながら、DV防止に関する具体的な指導を行うことを関係者との連携をはかり検討したい。



ときわ園敬老会



中島早苗議員

総合公園歩道の安全対策

町長 適切な対応を検討

問 総合公園の一部歩道に石が敷き詰められており、趣はあるが年数も経過し、苔の付着で滑りやすくなっている。
管理センターでは、イベントや行事などが頻繁に行われ、コミュ

ニティセンターには観光客も訪れる。
高齢者から幼児まで、多くの方が集い活用する場所の歩道が、突然の雨で危険な箇所になっているので事故などが起こる前に安全対策が必要では。

町長 総合公園の歩道は、年数の経過とともに花壇からの土壌の流出・苔の生育などにより滑りやすくなっている。
今後、指定管理者とも協議しながら定期的な歩道の維持管理を行っていくとともに危険箇所については仕上げ材の再検討を行い適切な対応を検討する。



奈須克喜議員

魅力ある街を

町長 住民の声を繁栄



問 地方創生の一環として5ヶ年計画で、住民主体の神話の里にふさわしい歴史・自然環境を活かした街づくり整備計画が進められている。
三田井地区（高千穂神社・くしふる神社）・岩戸地区（門前通り）で、住民参加のワークショップも行われているが次の3点を問う。
①該当する地域住民への周知徹底は。
②景観条例の制定時期は。
③三田井地区の一部県道を、町道に変更する時期は。

町長 ①住民への啓発活動を行いながら、ワークショップへの参加についても防災無線や広報誌で広く呼びかけていく。
②景観条例の設置については、県の補助事業「おもてなし景観街づくり推進事業」を活用し、今年度はアンケート調査を実施している。
来年度には、役場内の関係課による調査委員会を立上げ、関係団体とも協議を行い条例整備に着手する。

③県との協議により、平成29年度末頃、町道（高千穂神社通線）を県道に認定変更をお願いし、県道諸塚・高千穂線（城山神社通り・高千穂神社前交差点）間を町道に移管する予定である。



本願和茂議員

消防団の環境改善を

町長 現行通りでお願いしたい

問 ①少子高齢化時代にあわせ、適正な分団数及び部数に再編し、団員の負担軽減を図るべきでは。

町長 ②スマホアプリを利用し、あらゆる場所においても団員へ出動及び連絡がつく体制の構築が必要ではないか。

生徒はいない状況です。不登校傾向の生徒は中学校に2名いるが、教職員の支援などで遅刻や早退をしながらも登校している。

町長 ①分団については、大字毎に組織されているので現状維持が望ましい。
部については、部長を含め9名の部があるので統合の希望があれば、所属分団及び団本部と検討し結果を尊重したい。

町長 ②広域消防より部長以上に火災種別・場所・時間をメール送信している。団員へは部長から連絡の現行通りでお願いしたい。

町長 ③不登校などが予想される生徒及び家庭への支援や取り組みと今後の方針は。

町長 ③残火処理用として部に貸し出しを行っている。現時点での配備は費用面から難しい。

町長 ③提出物や学揃わない・朝食を食べていないなど家庭環境が心配な生徒は注意深く、全職員で情報共有しながら見守っている。要保護児童対策地域協議会でケース会議を実施し、早期段階で幅広い情報収集を行い支援策を検討している。



町長 ③ジェットシューターを各部に常備化すべきでは。

町長 ③SNSでのトラブル対応は。③表面上は把握しにくい問題だが、よりきめ細かく積極的な対応を図る。



馬原英治議員

再造林に新技術を

町長 総合的対策を講じる

問 宮崎県は25年連続杉生産量が日本一だが、伐採後の再造林率が低下している。



このような状態が続けば環境破壊や大規模自然災害が心配される。
町内の林業は、機械化が進み伐採スピードが増す反面、植付けスピードが進まず未植栽地が多く見られる。
対策として町内建設業の春から夏への植付け作業調査と、植付け新技術（ツリーシェルター）の実施検証ができないか。

町長 本町において、ここ10年間で1000ヘクタールの伐採が行われ、再造林面積は300ヘクタールに現状である。
県が平成29年度山村地域の発展に向けた推進体制を構築し、西臼杵林業振興協議会の再編を行う。



議会が災害対策本部を設置

東日本大震災を教訓にし、南海トラフ地震や、津波などの危機管理体制の強化を目的に条例とともに災害本部が設置されました。

②議員や職員すべてが地域消防防災に関する基礎的な研修を受ける
③定期的な町内危険箇所の見回り
などが主な活動です。

訓練は、本町にも大いに役立つ、容易に実現可能なことだと感じました。

議会災害対策本部は、あくまでも町の後方支援という立場であり、災害現場では行政主導と消防団優先というところが決められています。

日曜議会の開催

平日の傍聴者は少なく、日曜日であれば是非傍聴したいとの声が多く聞かれたことから実施されました。

執行部の前向きな協力により、職員は代休処理や超過勤務手当での支給で対応されています。

町内45箇所に傍聴呼び掛けの、ポスターを貼り、防災無線でも案内したところ当日は70人の傍聴者がありました。



高校存続を学ぶ

人口減少の中、県内の私立高校への生徒が流れて行く傾向が増え、現状のままでは学校の存続も危うくなり、串間市全体の衰退につながる。と考える地域をあげて、学校の魅力を高めて、学校の負担を減らし、学校を守り育てようというものです。

- ①入学時、保護者に一律5万円支給
- ②通学費の助成
- ③部活動・文化活動の九州・全国大会出場の場合、交通費一部補助
- ④英語・数学・簿記など各種検定は、2級以上の検定料助成
- ⑤成績・学業ともに優秀者10名に月2万円を3年間支給

⑥中学生を対象にサマースクールを開校などが主な活動です。

県下高等学校存続と支援の取り組みは、各市町村とも、同じ課題です。

串間市では、当初から県の出向職員とともに、県と連携して進められたことが大きな成果につながったようです。

中学校は5校を1校に

市全体が田園・平坦な街であることから、便利な環境のいい場所でも子ども達が集えるならそれが一番ということとで進められました。

協議では、校名・校歌・制服・カバンなどすべて作新することで合意されました。

統合はスムーズに進められ、平成29年度から実施されます。



再生マネージャーの報酬は月額90万円

市長より高い報酬の再生マネージャーを、雇用することが話題となった日南市油津商店街再生事業は、この4年間で確実に結果が表れています。

人通りを復活し、商店街に新しい出店者を20件誘致するといったノルマをマネージャーの手腕で達成されています。

若者の街・活性化しつつある街とのイメージが広く伝えられ、東京からIT企業の進出もあり、さらに今年度2社進出の予定です。

以前から足遠かった広島カープのキャンプ見物者も立ち寄られるようになり、球場から商店街までの歩道をカープカラーに塗り替えています。

小中学生も参加

年間を通した各種イベントには、企画の段階から地元の小中学生を要請し、夜市・コンサートを実施されています。

郊外の大形店に目を向けていた子供達を、引き付けることでアイスクリームやプリンなどの専門店なども進出しています。



テレビ中継で緊張感

椎葉村は、全戸に光ケーブルが施設されていることから、平成24年の庁舎新築に合わせて、テレビ中継の取り組みをしています。

村民が庁舎に来るまでに、1時間以上かかる集落が多いことや、村民からの要望が強かったようです。

中継に関する評判は上々で、議会と執行部との緊張感を高めることに役立っています。

当初は、年配議員にかなりの抵抗感もあったようですが、村民の声を全議員が賛同されています。

今後は、生中継で見



れない村民のために、ビデオ放送を検討中です。

行政調査報告を聞きにこんね?

行政調査は、議員の知識・教養を高めるための調査です。

行政施策などに反映させており、6月定例会でも、常任委員会の行政調査報告が行われる予定です。





ピックアップ! このひと

ひとりでは
生きていけない

あんざい ゆ み こ

高千穂町子育て支援センター 支援員 上田原 安在 有美子



プロフィール

- 県立延岡高等学校卒
- 宮崎学園短期大学
(旧宮崎女子短期大学) 卒
- 平成18年結婚、26年
ご主人安在直さんの
実家に移住
- 二男一女に恵まれる
- 平成27年に保育士免
許取得
- 平成28年8月より高
千穂町子育て支援セ
ンターで支援員とし
て勤務

ターニングポイント と歩み

高千穂町に知り合いの少ない私が毎日を寂しく過ごしていた時、現在の子育て支援センターが平成22年に開所し、当時駆け込み寺の様に子どもを抱えて飛び込んだのを覚えています。

センターでは先生方にたくさん相談にのっていただき、ママ友もいっぱいでき、高千穂町での子育てを思いっきり楽しむことができました。



私が子育て支援センターに助けられたように、助けを必要としている人の力になりたいです。



心かけ

何があっても笑顔と明るい声で接し、お母さん方とお話をする中で、悩みや困ったことがないか、常にアンテナを張ることを心掛けています。

うれしいこと

子どもさんとお母さんの笑顔が見られた時で、楽しんで子育てされている姿を見ると、こちらまで嬉しくなります。

夢は

「子育てしたい街ランキング」に載るくらい、高千穂町で子育てしたいと思ってもらえるような環境を整えていくことです。

若者に一言

子育てがひとりではできないように、自分ひとりでは生きていけないと感じます。

自分に関わってくれる全ての方々に感謝の気持ちを持ちつつ、一日一日を大事に過ごしてくださいね。

お母さん方の声

木陰のある神代川児童遊園には駐車場がありません。

折原には遊具はあっても日陰がなくトイレまで遠いので間に合いません。
また、高千穂町にはブランコのある公園が少ないので設置してほしいです。



どうぞ傍聴席へ

次の定例議会は6月8日 開会予定です。
傍聴のお申込みは、
お気軽に議会事務局
にお尋ねください。
TEL 73-1219
(議会事務局直通)

編集後記

桜が咲き舞い散る、この季節、本町においても進学や転勤などで新たな出会いと別れが生まれたことかと思います。

祖母が別れ際に言っていた言葉を思い出す。

『達者でな・・・』

離れていく我が子が立派になってほしいと思う親心も大切だと思う。

しかし、衰退していく故郷の現状を伝えることも大切だと思う。

(K・H)

発行責任者

議長 佐藤 節生

議会報編集委員会

委員長 本 願 和 茂
副委員長 中 島 早 苗
委員 富 高 友 子
委員 戸 高 清 次
委員 坂 本 弘 明
委員 馬 原 英 治